

和歌山県の道路整備について

人口減少・少子高齢化による税収減
社会資本整備に対する投資余力の低下

教育・福祉・医療など政策選択すべき
であるが、社会資本整備の面で
地方は、スタート台に立っていない。

地方が生き延びるため最低限の基盤の格差を埋めた上で、政策選択すべきである。

- ・戦後は、都市部が優先されてきた。
- ・地方は、あと少しのところでは取り残されている。
- ・特に、国土軸などは2本目の整備が始まる中で、整備格差が生まれている。

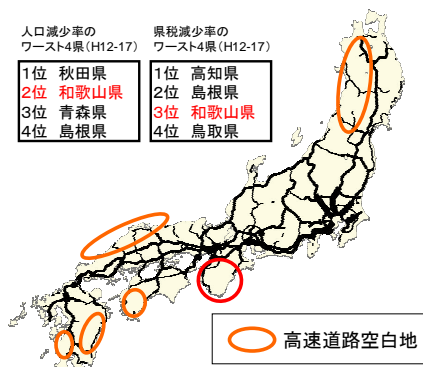
和歌山県の課題

『経済活動の基本的なチャンス』の保障、『自然災害への備え・救急救命活動』の強化

○紀伊半島は未だ高速道路の空白地

著しい人口減、税収減となっている

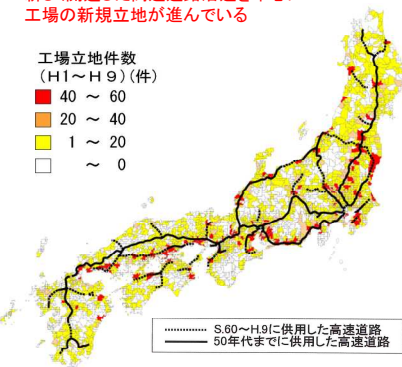
人口減少率の ワースト4県(H12-17)	県税減少率の ワースト4県(H12-17)
1位 秋田県	1位 高知県
2位 和歌山県	2位 鳥根県
3位 青森県	3位 和歌山県
4位 鳥根県	4位 鳥取県



○新規産業の立地には高速道路が不可欠

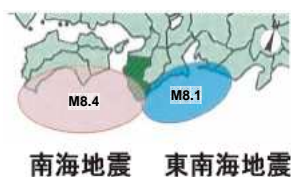
新しく開通した高速道路沿道を中心に
工場の新規立地が進んでいる

工場立地件数 (H1~H9)(件)
40 ~ 60
20 ~ 40
1 ~ 20
~ 0



○東南海・南海地震への備え

今世紀前半にも東南海・南海地震が発生



東南海・南海地震発生により、
串本の町が壊滅する。
(津波シミュレーション)

和歌山県に今何が必要か

『選択と集中』により道路整備を実施

国土のミッシングリンクの早期結合

- ・高速道路の整備により、地方の発展するチャンスを確保

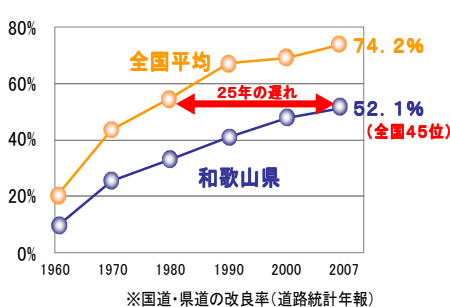
骨格道路への集中投資(内陸部骨格道路・府県間道路)

- ・高速道路と合わせて効果を発揮

○国土のミッシングリンクの早期結合が必要



○全国平均から25年遅れている改良率



○骨格道路への集中投資

